



今回訪問した事業所  
有限会社チアーズ

男女が共に活躍している  
元気な市内企業を紹介します



代表取締役 加藤 明子さん

当社は主に結婚式やイベントなどの司会を行っています。平成28年に設立25周年を迎え、これまで2万件を超える依頼をいただいております。

私は結婚を機に東京から庄内に移住し、当初は商店街の有線放送スタジオでDJをしていました。子育てと仕事を両立する中で「自分のペースで働きたい」と思い、立ち上げたのがチアーズです。イベントでの司会を通して私の声を覚えていく人も。声の記憶は、心に残るものなかもしれませんね。

スタッフは20代〜50代の女性で、みんな話すことが大好きです。子育てや介護をしながら働く人もいるので、個々のスキルや生活スタイルに合わせて仕事をしています。チアーズはさまざまな立場の女性が「自分のペースで働ける」場所でありたいと思っています。

◎企業で取り組んでいること

- 話し方に関する勉強会や練習会を開催し、スキル向上をバックアップします
- 事務所は普段から開放し、スタッフ同士が情報交換をしたり仕事以外の相談をしたりできる「みんなの巣」になっています
- ホームページから簡単に司会を依頼できるシステムが1月からスタート。スピーチのコツなども気軽に相談できます



▲オランダせんべいFACTORYでの産業ガイド



▲「臨機応変」が持ち味



【組織の概要】

住所/御成町8-21  
従業員数/スタッフ3人、登録スタッフ10人(全員女性)  
電話番号/23-8097  
業務内容/ 婚礼・葬儀・イベントなどの司会、イベント企画、産業ガイド、バルーン装飾



区市環境衛生課管理係  
☎31-0933

あけましておめでとうございます。新たな一年を迎えました。「二年の計は元旦にあり。」ということ、皆さんも今年は「これっ！」という計画があるのでないでしょうか。ごみ減量大作戦の今年の「これっ！」は、「ごみじゃないのよ、紙は資源」です。

平成28年度の酒田地区広域行政組合に搬入されたもやすごみを、水分を除いた組成で調べてみると、約47割が紙類でした。その紙類の中には、資源としてリサイクルできる紙類が多く含まれています。新聞紙や雑誌などを思い浮かべる方も多いと思いますが、問題は「雑がみ」と呼ばれているものです。「『雑がみ』なんて聞いたことない」という方がいると思いますが、昨年行ったアンケートでも3割の方が分別していないという結果でした。そのうちの6

割の方が、雑がみの分別が分からないという方でした。

それでは「雑がみ」とは何かというと ①空き箱（お菓子、ティッシュ）②紙袋 ③包装紙、封筒（個人情報部分はもやすごみ）④カレンダー ⑤トイレットペーパーやラップの芯などです。ただし、せっけんや線香などのにおいのついた箱、食品のよれがついた箱、カップめんの容器や紙コップなどの防水性の紙、写真や圧着はがき、シールなどは燃やすごみへ。

「やっぱりめんどくせの！」いえいえ、簡単です。家のごみ箱の隣に紙袋を置き、①〜⑤を入れることを家庭の約束にしましょう。紙袋は縛って、集団資源回収や紙類資源の日に出しましょう。詳しくは、ホームページの「雑がみ分別大作戦」を参照してください。